

伸びよう! 伸びよう! ひむかの青少年

# はぐくむ



## 青少年の主張宮崎県大会

主催/宮崎県青少年育成県民会議 国立青少年教育振興機構 共催/宮崎県 宮崎県教育委員会



「青少年の主張宮崎県大会」の少年の部は、「少年の主張全国大会」の予選会を兼ねており、全都道府県で実施されています。各都道府県大会の代表は、全国大会での表彰式(東京都)に出席します。また、その中から12名が全国大会での発表者に選出されます。全国大会での発表者で希望する方は、翌年の7月～8月、約一週間ミクロネシアへの海外旅行に派遣されることになっています。来年度も県内の多くの中学生・高校生の主張作文の応募を期待しています。

今年の「青少年の主張宮崎県大会」は8月7日(水)に実施しました。作文応募総数は少年の部(中学生)1,891点、青年の部(高校生)64点で、作文審査の結果、写真の14名の皆さんがあげました。自分の故郷のこと、普段考えていることや学んだこと、自分の人生や夢、故郷そして宮崎の将来など、中学生・高校生の感動的、そして頗もしく素晴らしい発表が聞かれました。

### 「青少年の主張宮崎県大会」受賞者

賞	氏名	学校名	学年	発表テーマ
少年の部	最優秀賞 か鹿嶋 優来	宮崎市立生目中学校	3	新しいことを知る喜び
	優秀賞 黒木 ほのか	国富町立本庄中学校	2	減らそう「食品ロス」
	優秀賞 古谷 明希歩	宮崎市立大塙中学校	2	輝く女性への第一歩
	優良賞 大仁田 健	宮崎西高等学校附属中学校	3	地域医療を支えたい
	優良賞 飯干 姫夢	高千穂町立高千穂中学校	3	伝承すべき絆
	優良賞 工岡 愛里	都城市立五十市中学校	3	親切とは
	優良賞 甲斐 未祐	宮崎市立大淀中学校	2	外国人労働者について
	優良賞 甲斐 心土	日之影町立日之影中学校	3	未来の農業
	優良賞 梅田 めぐみ	宮崎市立宮崎西中学校	3	高齢者ドライバーによる事故について
	優良賞 相馬 和奏	新富町立富田中学校	3	「職」
青年の部	最優秀賞 小川 美空	県立都城さくら聴覚支援学校	3	「通じ合うために」
	優秀賞 志野 なおみ	県立宮崎西高等学校	2	「安心して暮らせる宮崎県にするために」
	優良賞 加藤 澄花	県立福島高等学校	1	ネット上の関係
	優良賞 平川 ようこ	クラーク記念国際高等学校 宮崎キャンパス	3	「母が残してくれたもの」

「はぐくむ」は宮崎県青少年育成県民会議の広報紙です。

〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号 県庁福祉保健部 こども家庭課内

電話: 0985-26-7041 FAX: 0985-26-3416

Eメール: miyazaki-sik@ab.auone-net.jp



令和元年度「青少年の主張宮崎県大会」の少年の部(中学生)及び青年の部(高校生)の最優秀賞作文を紹介します。いが述べられています。中学生の鹿嶋優来さん、高校生の小川美空さん、お二人とも積極的で素晴らしい内容の作文でそして“勇気”を貰えるものばかりでした。

## 少年の部 最優秀賞



### 新しいことを知る喜び

宮崎市立生目中学校 3年 鹿嶋 優来

「病気を診ずして病人を診よ」みなさんは、この言葉を唱えた宮崎市高岡町出身の偉人を知っていますか。私は、このビタミンの父である高木兼寛先生の功績を学ぶために、昨年度「高木兼寛顕彰事業」に参加しました。

学校外で、このような事業に参加するのは初めてで、私は、大きな期待を抱いていました。「参加するからにはどんなことにも積極的に取り組んで、たくさん発言や質問をしよう」と心に決めました。

まず、高岡町の穆佐城跡を訪ねました。私はこの日まで穆佐城の歴史はもちろん、存在すら全く知りませんでした。初めて目の当たりにする壮大な景色に、自分が今宮崎にいることさえ疑いました。本当に広くて、城内すべてを見ることはできませんでした。顕彰会の方からここにたくさんの命が眠っていると聞くと、「何百年も前にもこの地に私と同じように立っていた人々がいたのだな」と生まれて初めて歴史を体で感じた気がしました。教室の授業では感じられない「新しいことを知る喜び」を目に見える色とりどりの景色、小鳥のさえずり、聞こえる音、緑のにおいや少し重い空気から体全体で感じ取ることができました。

東京では、兼寛先生の眠る青山墓地を参拝し、清掃をしました。自分の身内でない人のお墓を訪ねるのも、清掃するのも初めてでしたが、とても新鮮な気持ちでした。墓地には、私たち派遣団だけでなく、医療に携わる人々や、兼寛先生を知り、敬う人々も、手を合わせに来るそうです。ほとんどの人が兼寛先生に会ったことはありません。しかし、たくさんの人々が尊敬し、功績を伝え続け、兼寛先生に会いに来ます。私も兼寛先生のように、たくさんの人に認められる人になりたいと思いました。

兼寛先生は、当時日本で流行していた脚気という病気の原因をつきとめるために、実験航海を行いました。もちろん実験が失敗すれば医学界からの追放だけでなく実験のために自他の尊い命が失われてしまいます。けれども、兼寛先生は命をかけて、人々を苦しめている脚気をなくそうと、大きな挑戦をします。その意志の強さにとても心を打たれました。誰も知らない答えを導き出すには、大変な苦労があったことでしょう。何よりも、他人の命を背負うことなんて私にはできないと思います。兼寛先生はとても勇気のある人だと思いました。

顕彰事業を終えて、私は残念に思うことがあります。それは、このような素晴らしい事業の存在を知らない人が多いということです。未知の世界に足を踏み入れることは人間を大きく成長させてくれます。私はこの体験を通して、全く知らなかつたことや全く知らなかつた物に触れました。そして、今まで興味のないことには目を向けなかつた私が、いろいろな物事に対して、調べてみたり、体験してみたりするようになりました。また、自分が参加できる活動には積極的に参加していくようになりました。新しいことを知る喜びは、こんなにも自分を幸せにしてくれるのだと、とても嬉しくなりました。だから、友達や私と同じ中学生にも、このような体験をしてほしいと思います。

情報社会になっている世の中、誰もがインターネットだけで物事を知る機会が多いと思います。しかし、自分の体で直接体験することは、画面から知るよりもずっとワクワクしてときには感銘をうけるものだと思います。

私はこれから、この体験をいかしていろんな場面で先頭に立ち周りを引っ張っていける人になりたいです。「知らないから怖い、できないからやらない」そんな自分には別れを告げて、どんな時も希望を持ち続けた兼寛先生のように常に挑戦する心を忘れません。もっと多くの新しいことを知り、挑戦することを諦めて立ち止まってしまった人々の背中を押せるように、誰かの幸せのために努力できる人になりたいです。そして新しいことをたくさん知って、自分の世界を限りなく広げていきたいです。

それぞれ自分の体験から考えたことや学んだことを、将来に向けてどのように活かしながら生きていきたいという思す。紙面の都合でここに載せることができなかった他の作文も同世代の皆さんにはもちろん、大人にも“元気”と“希望”、

## 青年の部 最優秀賞



### 通じ合うために

宮崎県立都城さくら聴覚支援学校高等部 3年 小川 美空

おがわ みく  
小川 美空

私は、18歳、高校3年生、走らないと不安になるくらい走ることが好きで、この前まで陸上部で走っていた。今は、自分の夢に向かって一直線に走っているといいたいが、まだ悩みながら、でも先生になりたいという夢に向かって走っている。

私には生まれつき聴覚に障がいがあり、聞こえない兄、聞こえる兄と弟がいる。母は、兄弟を分け隔てなく、手話を使って、自然に育ってくれた。これまで手話中心に過ごしてきたので、手話の通じない外の世界をいつも不安に感じていた。

私が今まで一番嫌だった記憶は、小学4年生の時、家族で外食に行ったときだ。「茶碗蒸し」の注文を母から「自分でしなさい」と言われ、自分の声で注文したが、結局伝わらなかった。そのとき、私は発音が下手なんだ、自分では聞こえない自分の声を恥ずかしいと思うようになった。これ以来、聞こえないことを意識するようになり、周りの視線が気になり、補聴器をはずすこともあり、外出も少なくなった。

地域の中学校との交流は、とても苦痛な時間で、早く終わればいいといつもと思っていた。でも、その頃、私も聞こえる人に生まっていたらどうなっただろうと考えていた。聞こえていたら、たくさんの友達と楽しくしゃべれたのにと思うと、いつも泣きそうだった。中学3年生の終わりに、友人2人とごはんを食べに行った。2人は、それぞれ1人は口で注文、1人はメニューを指で指してさっさと注文した。私はメニューを指さす方法を教えてもらい、自分で初めて「カルボナーラ」を注文した。「茶碗蒸し」以来、勇気をもった注文が通じたことがとても嬉しく、注文の方法も口だけでない、他にも通じる方法があることに気づいた。この「カルボナーラ」は、私の原点、ソウルフードだ。ここで、ずっと自分の中で引きずっていた「茶碗蒸し」の負の記憶を、「カルボナーラ」でプラスに塗り替えることができたのだ。

高等部では、交流やインターンシップなど、校外の活動が増えた。他校の生徒が積極的に手話を覚え、身振り手振り、口を大きくゆっくりと話しかけてくれ、会話が弾んだ。同じ高校生として通じ合うことがこんなにも楽しいものかと感動を覚えた。このようにいろいろな経験に恵まれ、通じ合う喜びを実感し、更に私たちの障がいを理解してくれる人に多く出会うことができた。前は補聴器を他の人にじっと見られるのが嫌だったが、今はつけていることを知りたいと思っている。通じ合うためには、自分から相手に心を開くことが第一歩になるということ、聞こえる人、聞こえない人、障がいのある人、ない人、外国人の人、大人や子ども、男性、女性、LGBTの方などいろんな人が、理解し合い、支え合える社会が、共生社会だということ、私もその中の1人だということに気づくことができた。

昨年、他校で私の意見を発表したとき、私たちが、この自分の声も拍手の音も聞こえにくい世界にいること、通じ合う一つの方法として、手のひらをひらひらさせる音のない見える拍手を紹介した。すると、全員の手のひらが花びらのようにひらひらと流れ、私は広い会場全体の一人一人と通じ合っているという静かな感動に包まれた。私は、今、聞こえる、聞こえないに関係なく通じ合うことを信じて、自分の世界を広げるチャレンジをしていこうと思っている。

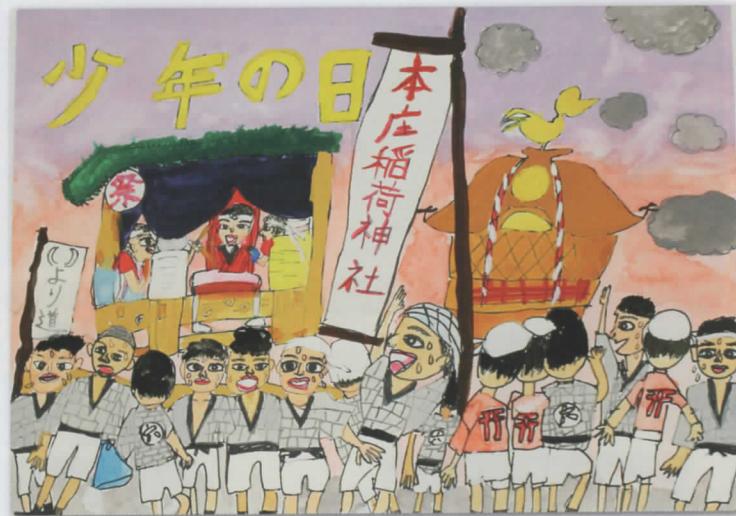
## 「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール最優秀賞受賞作品紹介



日南市立飫肥小学校 5年

かわそえ りこ  
川添 璞子さん

テーマ「力を合わせて稻刈り体験」



国富町立本庄小学校 3年

おがた ひばる  
緒方 陽春さん

テーマ 「ヨイマカ」

## 「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール入賞者

賞	氏名	学校	学年	賞	氏名	学校	学年
家庭の日	最優秀賞 かわそえ りこ 川添 璞子	日南市立飫肥小学校	5	少年の日	優良賞 こばやし れいな 小林 澄奈	宮崎市立宮崎西中学校	2
	優秀賞 もり たりゅうさぶろう 森田龍三朗	小林市立東方小学校	1		優良賞 ごとう りのん 後藤 莉音	都城市立祝吉中学校	2
	かい いちげん 甲斐 一源	宮崎市立西池小学校	4		優良賞 わたなべ りん 渡部 莉音	延岡市立東海中学校	3
	みやもと かな 宮本 佳奈	県立佐土原高等学校	1		優良賞 かねまる みく 金丸 美空	延岡市立黒岩中学校	3
	つだ そうすけ 津田 淳亮	美郷町立南郷小学校	1		優良賞 わたなべ りな 渡部 璞南	県立宮崎商業高等学校	3
	たなか みき 田中 美妃	宮崎市立広瀬北小学校	2		最優秀賞 おがた ひばる 緒方 陽春	国富町立本庄小学校	3
	おだ ゆいこ 小田 結子	日南市立飫肥小学校	2		優秀賞 まつ だりりあ 松田理莉亞	宮崎市立宮崎西中学校	2
	たべ たいよう 田部 太陽	国富町立本庄小学校	3		優秀賞 はらだ なつき 原田 夏希	県立佐土原高等学校	1
	ながくら ふみひろ 長倉 史拓	都城市立五十市小学校	3		優良賞 かわの 河野 もも 横山 達海	県立宮崎商業高等学校	3
	なかお あやね 中尾 彩音	宮崎市立高岡小学校	4		優良賞 よこやま たつみ 横山 達海	宮崎市立大淀小学校	4
	おがた 尾方ののは	宮崎市立田野小学校	5		優良賞 たなか ゆうき 田中 佑樹	宮崎市立広瀬北小学校	5
	やまうち あいら 山内 愛麗	宮崎市立大宮小学校	6		優良賞 よこやま ゆうせい 横山 侑生	宮崎市立西池小学校	6
	みやけ まみ 三宅 真美	宮崎市立西池小学校	6		優良賞 ふじかわ ひでとら 藤川 秀虎	五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校	1
	ひらばる さわ 平原 咲和	綾町立綾中学校	1		優良賞 あんどう みほ 安藤 未歩	宮崎市立宮崎西中学校	3
	くすはら みづほ 楠原 瑞歩	日南市立飫肥中学校	1		優良賞 さとう ゆりか 佐藤優莉香	県立佐土原高等学校	2

## 「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール優秀賞受賞作品



小林市立東方小学校 1年  
もり た りゅうざぶ ろう  
**森田 龍三郎 さん**



宮崎市立西池小学校 4年  
かわい いちげん  
**甲斐 一源 さん**



宮崎県立佐土原高等学校 1年  
みや もと かな  
**宮本 佳奈 さん**



宮崎市立宮崎西中学校 2年  
まつだ りりあ  
**松田 理莉亞 さん**



宮崎県立佐土原高等学校 1年  
はらだ なつき  
**原田 夏希 さん**



宮崎県立宮崎商業高等学校 3年  
かわの もも  
**河野 桃子 さん**

## 「家庭の日」・「少年の日」ポスターコンクール入賞作品展示



県庁本館 1階



宮崎銀行宮崎支店



宮崎銀行本店



県立図書館



「家庭の日」・「少年の日」ポスター  
コンクール入賞作品の展示を実施し  
ました。入賞作品については、宮崎県  
青少年育成県民会議のホームページ  
にも掲載していますので、ご覧くだ  
さい。

# 宮崎県メディア安全指導員養成講座の取組



第一高等学校での全校生徒と  
職員を対象とした講演



幼稚園・保育所・認定こども園  
新規採用者研修会での講演

宮崎県青少年育成県民会議では、乳幼児や成長期の青少年に与えるメディアの影響、そしてその対処法などを啓発する「宮崎県メディア安全指導員」を県内全域に派遣しています。

子どものメディア（テレビ・スマホ・ゲーム機・インターネット等）との接触の現状や問題点、具体的な対応策などを、各小・中・高・特別支援学校での授業、幼・保・学校のPTA家庭教育学級、公民館や行政機関の研修等で講話や講演を行います。詳しくは、宮崎県庁または宮崎県青少年育成県民会議のホームページから「メディア安全指導員」と検索するか、右側のQRコードからアクセスしてください。



## 「青少年の主張宮崎県大会」～作文募集～

### 1 募集対象・期間

中・高・特別支援学校の生徒を対象に主張作文の募集を5月～6月に行います。  
詳細は各学校の先生にお尋ねください。

ふるってご応募ください！！

少年の部(中学生)の最優秀賞・優秀賞受賞者は、全国大会(東京都)に派遣(発表または参加)されます。

2 開催日時 令和2年8月6日(木) 13:00～

3 開催場所 宮崎市民プラザ・オルブライトホール

## 「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール作品募集

1 募集時期 令和2年 夏休み明けの9月（募集案内は6月）

2 募集対象 小・中・高・特別支援学校の児童生徒

※ 入賞者には図書カード、応募者全員に参加賞を進呈

※ 詳細は各学校の先生にお尋ねください。